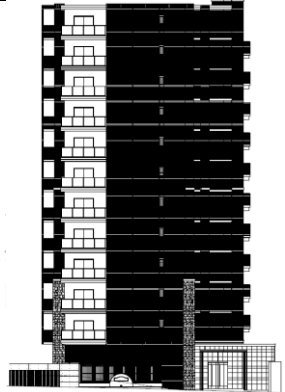


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	シティライフ大江東 新築工事	階数	地上12F	 ナしてください。	
建設地	熊本市中央区渡鹿1丁目887-2、888	構造	RC造		
用途地域	近隣商業地域、指定なし	平均居住人員	103 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	4,500 時間/年		
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2017年2月1日		
敷地面積	1,101 m ²	作成者	上村 絢茄		
建築面積	396 m ²	確認日	2017年2月3日		
延床面積	3,337 m ²	確認者	伊東 正太郎		

1 CASBEE評価結果

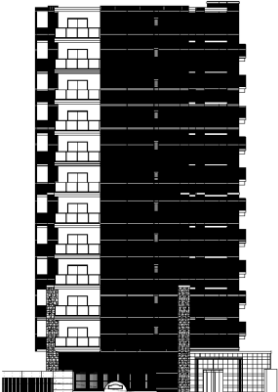
■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)																																			
★ ★ ★ ★ ★		BEE = 1.1	■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$																																
100 50 0 0 50 100 3.0 1.5 BEE=1.0 0.5 0 S A B⁺ B⁻ C 45 1.1 39		■環境効率評価基準																																	
		<table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table>		ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—
ランク	ランク表示	評価	判定値																																
			BEE値	Q値																															
S	★★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																															
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																															
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																															
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																															
C	★	劣る	0.5未満	—																															
		■ライフサイクルCO ₂ 排出性能評価基準																																	
		<table><tr><th>判定値(排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></table>		判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆																				
判定値(排出率)	ランク表示																																		
30%以下	☆☆☆☆☆																																		
30%超60%以下	☆☆☆☆																																		
60%超80%以下	☆☆☆																																		
80%超100%以下	☆☆																																		
100%超	☆																																		
■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能(ランク表示)		排出率																																	
☆ ☆ ★ ★ ★		92%																																	

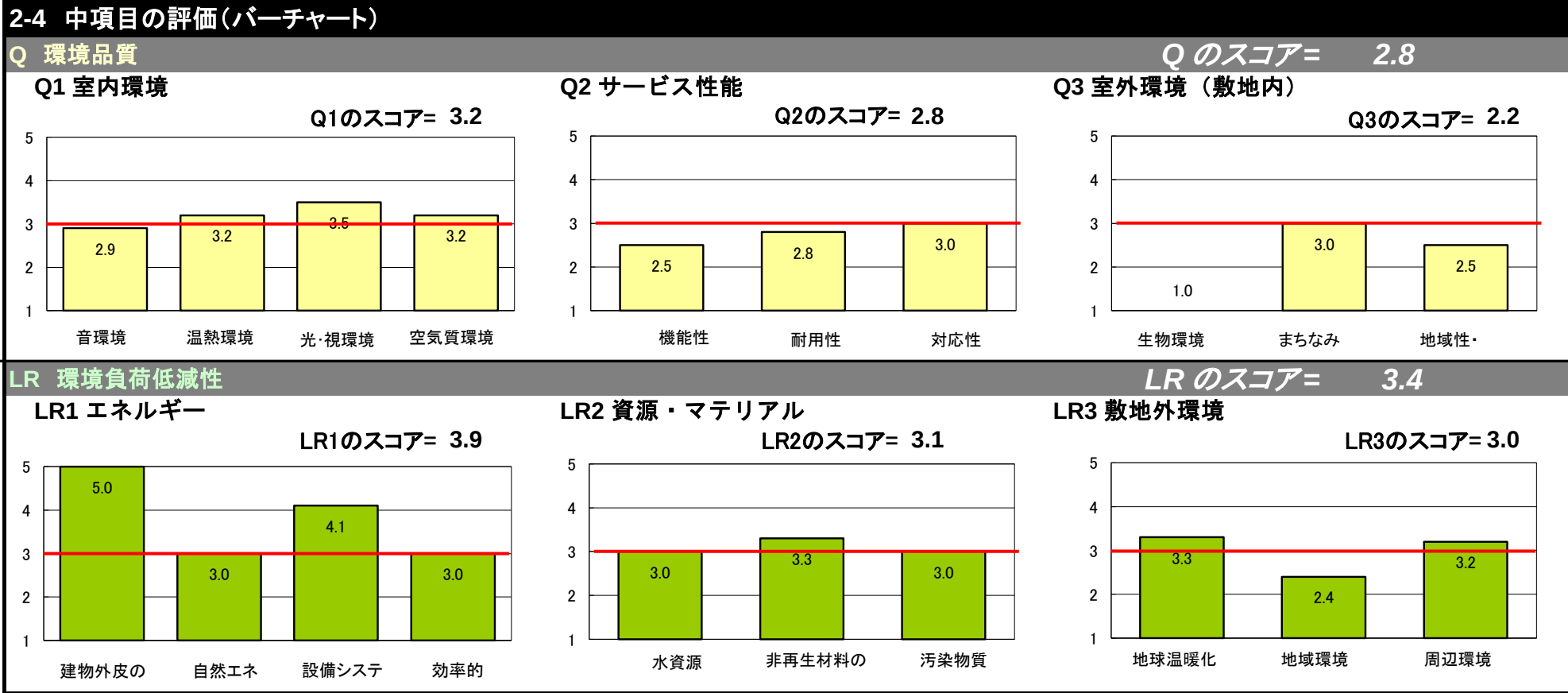
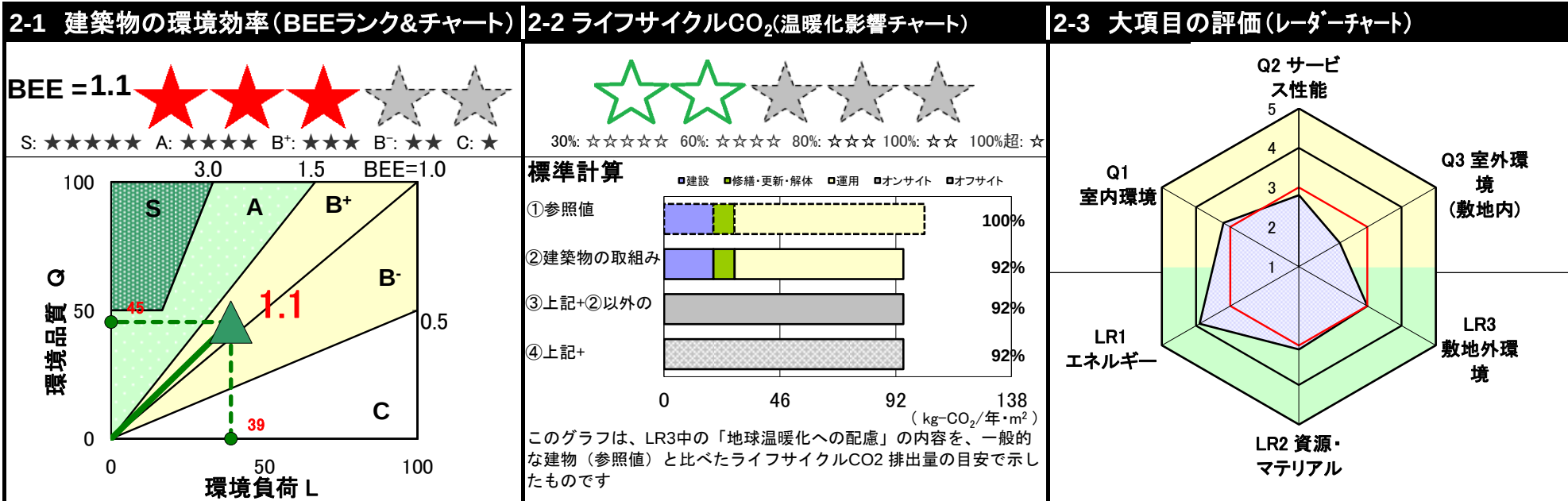
2 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価			評価点
  			78
	評価点	■熊本県重点評価基準	
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	90.6	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	61.2	100点以上	    
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75.0	80点以上100点未満	   
【重点事項4】 循環型社会の実現	74.8	60点以上80点未満	  
		40点以上60点未満	 
		40点未満	
※評価点は、100点以上が推奨です。			

CASBEE®熊本《新築》評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2014年版 ■使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	シティライフ大江東 新築工事	階数	地上12F	 お楽しみに。	
建設地	熊本市中央区渡鹿1丁目887-2、888	構造	RC造		
用途地域	近隣商業地域、指定なし	平均居住人員	103 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	4,500 時間/年		
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2017年2月1日		
敷地面積	1,101 m ²	作成者	上村 純祐		
建築面積	396 m ²	確認日	2017年2月3日		
延床面積	3,337 m ²	確認者	伊東 正太郎		



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2014年版 シティライフ大江東 新築工事		欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)			
スコアシート 実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質						2.8	
Q1 室内環境			0.40		-	3.2	
1 音環境		2.0	0.15	3.1	1.00	2.9	
1.1 騒音		(共用部)ホール: 50dB(A) (住居部)住戸: 40dB(A)					
1.2 遮音		1.0	0.50	2.2	0.50		
1 開口部遮音性能		1.0	1.00	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能		-	-	1.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	1.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	1.0	0.20		
1.3 吸音		-	-	-	-		
2 温熱環境		2.6	0.35	3.3	1.00	3.2	
2.1 室温制御		2.2	0.50	3.7	0.50		
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63		
2 外皮性能		1.0	0.38	5.0	0.38		
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-		
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境		3.0	0.25	3.6	1.00	3.5	
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.30		
1 昼光率		5.0	0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.30		
1 昼光制御		2.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境		3.0	0.25	3.2	1.00	3.2	
4.1 発生源対策		3.0	0.60	3.0	0.63		
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00		
2 アスベスト対策		-	-	-	-		
4.2 換気		3.0	0.40	3.6	0.38		
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		-	-	5.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理		-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-		
2 喫煙の制御		-	-	-	-		
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.8	
1 機能性		2.4	0.40	2.6	1.00	2.5	
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性		-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	1.00		
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-		
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-		
3 衛生管理業務		-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30	-	-	2.8	
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-		
1 耐震性		3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		2.9	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-		

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.6	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		2.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				-	-	3.2	0.50	
	1	階高のゆとり	平均階高: 2.95m	-	-	4.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
				-	-	3.0	0.50	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	1.00	-	-	
	3.3 設備の更新性			3.0	0.20	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	構造部材・仕上材を痛めることなく、更新・修繕できる	5.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	仕上材を痛めることなく、更新・修繕できる	5.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		1.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
	1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9	
1 建物外皮の熱負荷抑制			等級4	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 — 住宅(専有部)	4.1	0.50	-	-	4.1
集合住宅以外の評価(3a.3b)				-	-	-	-	
集合住宅の評価(3c)			LED照明の採用	4.1	1.00	-	-	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-	-	
4.1 モニタリング				-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	-	-	-	
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1	
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			壁・天井: 木下地	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0	
1 地球温暖化への配慮			高効率機器の採用	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮				2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1 騒音				3.0	1.00	-	-	
2 振動				-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			・光害がガイドラインチェックリスト過半を満たす ・広告照明なし	5.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	

CASBEE[®] 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

周囲の景観と調和するように、シンプルかつ落ち着いた雰囲気の外観デザインを心掛けた。
ゆとりある間取りと収納スペースを設け、各戸の快適性を重視した設計を心掛けた。

Q1 室内環境

居室の窓をなるべく大きくし、通風・採光の確保に努め、快適な住空間を目標とした。
居室のサッシはペアガラスとし、断熱性の向上を図り、遮音等級T-2以上を採用。
仕様建材はF☆☆☆☆製品とし、化学汚染物質被害を防止する。

Q2 サービス性能

将来の更新を想定し、全室ビニルクロスを採用した。

Q3 室外環境（敷地内）

地域住民の要望を取り入れ、可能な限り、歩道の確保に努め、また夜道が暗くならないよう街灯を設け照度の確保に配慮した。
外壁仕上材の彩度を落としたデザインとし、周囲への太陽光の反射等の軽減を図る。

LR1 エネルギー

ベランダ（庇）を広めにとり、日射遮へい性、断熱性能の向上を図る。

LR2 資源・マテリアル

限りある資源を有効に利用する。
ハロン消火剤を使用しない。

LR3 敷地外環境

駐車、駐輪設備を充実させ、交通渋滞の緩和に配慮した。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 シティライフ大江東 新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		78
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				90.6	0.40	36.24
Q1-2.1.2	外皮性能	4.3	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.6	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.1	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				61.2	0.20	12.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				75	0.20	15.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	3.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				74.8	0.20	14.96
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	2.9	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.1	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数